

令和 2 年度

十津川村教育委員会
点検・評価報告書

令和 4 年 2 月 16 日
十津川村教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年
法律第 162 号）第 26 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、
令和 2 年度十津川村教育委員会の権限に属する事務の管
理及び執行の状況点検評価の結果について、報告いたしま
す。

———
令和 4 年 2 月

十津川村教育委員会

目 次

はじめに

I. 点検・評価実施要領	4
II. 教育委員会の運営及び活動状況	7
III. 事務事業評価シート	
【学校教育に関すること】	
1. 地域連携教育	10
2. ICT 教育・GIGAスクール構想事業	11
3. 特別支援教育	12
4. スクールカウンセラー派遣事業	13
5. 外国青年招致事業（ALT）	14
6. 防災教育	15
7. 森林環境教育	16
8. 食育	17
9. サマースクール事業	18
【学校教育施設の管理運営に関すること】	
10. 学校施設整備事業	19
11. 廉房機器整備事業	20
12. 教職員住宅整備事業	21
【教職員・児童生徒の保健安全に関すること】	
13. 通学路	22
14. 学校保健事業	23
【子育て支援に関すること】	
15. 学校給食無償化事業	24
16. 通学費補助事業	25
17. 修学旅行費補助事業	26
18. 放課後子ども教室	27
19. 就学援助	28
20. 奨学資金貸付事業	29

【社会教育・生涯学習に関すること】		
21.	社会教育委員	30
22.	乳幼児家庭教育学級	31
23.	新十津川町との交流事業	32
24.	成人式式典事業	33
25.	公民館事業	34
26.	のら文庫	35
27.	社会教育関係等団体指導育成事業	36
【文化施設の管理運営に関すること】		
28.	歴史民俗資料館	38
29.	教育資料館	39
30.	山村生産用具収蔵庫	40
31.	むかし館	41
【文化財の保護に関すること】		
32.	文化財審議委員	42
33.	カモシカ保護事業	43
34.	文化財保存整備事業	44
【歴史・文化・芸術の振興に関すること】		
35.	歴史・文化講座	45
36.	文化祭	46
37.	村史編さん事業	47
38.	世界遺産体験会	48
【社会体育施設の管理運営に関すること】		
39.	体育文化センター	49
40.	十津川村民ひろば	50
【スポーツの振興に関すること】		
41.	スポーツ推進委員	51
42.	スポーツ・文化大会等出場者奨励事業	52
43.	チャレンジスポーツ in 十津川	53
44.	東京 2020 オリンピック聖火リレー	54
45.	駅伝大会	55
IV. 点検・評価のまとめ		
		56

I. 点検・評価実施要領

1. 趣旨

本点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、より効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、村民に対する説明責任を果たしていくことを目的とする。

2. 点検・評価の対象

- (1) 十津川村教育委員会の運営及び活動状況
- (2) 第 5 次十津川村総合計画（平成 29 年度～令和 8 年度）及び十津川村教育大綱（令和 2 年度～令和 6 年度）に基づく下記の教育委員会所管の令和 2 年度の主要な事務事業

【学校教育に関すること】

1. 地域連携教育
2. ICT 教育・GIGA スクール構想事業
3. 特別支援教育
4. スクールカウンセラー派遣事業
5. 外国青年招致事業（ALT）
6. 防災教育
7. 森林環境教育
8. 食育
9. サマースクール事業

【学校教育施設の管理運営に関すること】

10. 学校施設整備事業
11. 廉房機器整備事業
12. 教職員住宅整備事業

【教職員・児童生徒の保健安全に関すること】

13. 通学路
14. 学校保健事業

【子育て支援に関すること】

15. 学校給食無償化事業
16. 通学費補助事業
17. 修学旅行費補助事業
18. 放課後子ども教室
19. 就学援助
20. 奨学資金貸付事業

【社会教育・生涯学習に関すること】

- 21. 社会教育委員
- 22. 乳幼児家庭教育学級
- 23. 新十津川町との交流事業
- 24. 成人式式典事業
- 25. 公民館事業
- 26. のら文庫
- 27. 社会教育関係等団体指導育成事業

【文化施設の管理運営に関すること】

- 28. 歴史民俗資料館
- 29. 教育資料館
- 30. 山村生産用具収蔵庫
- 31. むかし館

【文化財の保護に関すること】

- 32. 文化財審議委員
- 33. カモシカ保護事業
- 34. 文化財保存整備事業

【歴史・文化・芸術の振興に関すること】

- 35. 歴史・文化講座
- 36. 文化祭
- 37. 村史編さん事業
- 38. 世界遺産体験会

【社会体育施設の管理運営に関すること】

- 39. 体育文化センター
- 40. 十津川村民ひろば

【スポーツの振興に関すること】

- 41. スポーツ推進委員
- 42. スポーツ・文化大会等出場者奨励事業
- 43. チャレンジスポーツ in 十津川
- 44. 東京 2020 オリンピック聖火リレー
- 45. 駅伝大会

3. 点検・評価の方法

- (1) 事務事業毎に事業コスト・取組内容及び成果・課題を「事務事業評価シート」に取りまとめ点検・評価を行う。但し、新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった事務事業については、点検のみを行い、評価は行わないこととする。
- (2) 作成した「事務事業評価シート」をもとに有識者から意見を聴取する。
- (3) 有識者の意見を受けて、次年度以降の事務事業の方向性を決定する。

4. 点検・評価に関する有識者の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、十津川村教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただきため、十津川村教育委員会点検・評価に関する有識者を次の方に委嘱しました。

奥田 智（日本大学経済学部教授、元奈良教育大学 教授）

5. 点検・評価報告書の提出

十津川村教育委員会は、「十津川村教育委員会点検・評価報告書」を村議会へ提出する。

6. 点検・評価結果の公表

十津川村教育委員会は、点検・評価の結果を村のホームページで公表する。

II. 教育委員会の運営及び活動状況

(1) 教育長及び教育委員について

教育長及び教育委員は下表のとおりです。

職名	氏名
教育長	樹井 恒好
教育長職務代理	松田 充弘
委員	更谷 孝澄
委員	野長瀬 譲
委員	玉置 真知子

(2) 教育委員会議及び審議状況について

令和2年度は合計で14回の会議を開催し、審議事項9件、協議報告事項37件について審議・協議報告を行いました。内容は下表のとおりです。

開催日	審議事項	協議報告事項
4月24日(金) 第1回定例会議		<ul style="list-style-type: none">・各名簿について・令和2年度学級・教職員・児童・生徒数について・令和2年度教育委員学校訪問について・第6回社会教育委員会議の内容について
4月30日(木) 第1回臨時会議		<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症による休業措置について
5月13日(金) 第2回臨時会議		<ul style="list-style-type: none">・今後の対応について・授業日数及び授業時数について・十津川第二小学校プール開放について
5月22日(金) 第2回定例会議	<ul style="list-style-type: none">・奨学金の貸与の可否について・十津川村文化財保護審議委員会委員の選任について	<ul style="list-style-type: none">・GIGAスクール構想整備事業について
6月25日(木) 第3回定例会議		<ul style="list-style-type: none">・社会教育委員等について・令和2年度イベント等の対応状況について・低学年児童の預かりについて
7月22日(水) 第4回定例会議	<ul style="list-style-type: none">・社会体育施設の使用料徴収について	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度イベント等の対応状況について・第1回社会教育委員会議の内容について・玉置神社社務所及び台所の大規模改修について
8月25日(火) 第5回定例会議		<ul style="list-style-type: none">・令和2年8月1日付異動について・総務文教常任委員会の案件について・十津川第一小学校改修工事について・GIGAスクール構想整備事業について
9月28日(月) 第6回定例会議	<ul style="list-style-type: none">・社会教育関係等団体補助金交付要綱の制定について	<ul style="list-style-type: none">・学校訪問の日程について・小・中学校の修学旅行について・第2回社会教育委員会議の内容について
10月27日(火) 第7回定例会議		<ul style="list-style-type: none">・令和3年成人式について・第67回十津川村駅伝大会について
11月25日(水) 第8回定例会議	<ul style="list-style-type: none">・学校給食費及び修学旅行費補助金交付要綱の制定について・準要保護児童生徒の認定について	

開催日	審議事項	協議報告事項
12月21日（月） 第9回定例会議	・要保護及び準要保護児童生徒就学援助費並びに特別支援教育就学奨励費に関する要綱の一部改正について	・第3回及び第4回社会教育委員会議について ・令和3年度入学式・卒業式の日程について ・令和3年度特別支援学級入級予定者について
1月26日（火） 第10回定例会議		・令和3年1月1日付異動について ・令和元年度十津川村教育委員会点検・評価報告書について ・卒業証書授与式・入学式の出席について ・東京2020オリンピック聖火リレーについて
2月25日（木） 第11回定例会議		・第5回社会教育委員会議の内容について ・総務文教常任委員会について ・東京2020オリンピック聖火リレーの新型コロナ関連の緊急対応策について
3月25日（木） 第12回定例会議	・準要保護児童生徒の認定について ・十津川村学校給食費無償化事業実施要綱の制定について	・令和3年3月31日付及び4月1日付異動内示について ・令和3年度会計年度任用職員について ・令和3年度放課後子ども教室について

(3) 教育委員会議以外の活動について

各種行事等に参加しました。主な内容は下表のとおりです。

活動日	内容	参加者
4月7日（火）	十津川第一小学校入学式	松田教育長職務代理
	十津川第二小学校入学式	教育長
4月8日（水）	十津川中学校入学式	教育長
8月20日（木）	水害慰靈祭	教育長
9月19日（土）	十津川中学校文化祭合唱祭	教育長
9月26日（土）	十津川第一小学校運動会	教育長
10月3日（土）	十津川第二小学校運動会	教育長
10月10日（土）	十津川中学校体育大会	教育長
10月13日（火）	小中学校訪問	全員
12月21日（月）	十津川村総合教育会議	全員
1月3日（日）	十津川村成人式	教育長
3月16日（火）	十津川中学校卒業式	教育長
3月23日（火）	十津川第一小学校卒業式	松田教育長職務代理
	十津川第二小学校卒業式	教育長

III. 事務事業評価シート

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

1

事務事業名	地域連携教育
-------	--------

事業の目的	<p>【理念】十津川地域における小中高が連携し、研修・実践を行うため本組織を設置した。村教育委員会及び村内の学校が連携強化を進めることで、学校保護者地域住民等が信頼を深め、一体となり取組を進める。</p> <p>【ねらい】十津川高等学校はH29から、小中学校においてはH30から始まった学校運営協議会とともに、村内全教員で村の子どもの教育に取り組み、進んで社会を支えていこうとする気概と資質を身に付けた生徒を育てる。</p>
事業の内容	<p>推進委員会の開催:年2回 事務局会議の開催:年8回</p> <p>【特別活動部会】小中高合同文化鑑賞会(高校3年・中学3年・小学6年のみの参加)を実施した。</p> <p>【生徒指導部会】各校の生徒指導の情報共有や共通課題を認識した。</p> <p>【総合学習部会】中高合同総合発表会は、各校の取組を収録したDVDを交換し視聴することで実施した。</p> <p>【各教科部会】数学・英語部会では、高校教員による中学校でのTTの実施。理科部会は、学習に関する情報交換。体育部会は実施できず。</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	990	1,000	1,000
	一般財源	0	0	0
		990	1,000	1,000

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	
取組内容 及び成果	合同文化鑑賞会	人 139(中高全員)	55(小6・中3・高3)	233(小中高全員)	
	中高生徒交流会	人 139(中高全員)	なし	63(小5・中2・高2)	
	中高総合発表会	人 139(中高全員)	DVD交換による視聴	45(中2・高2)	
	合同体力テスト	人 180(小中全員・高2)	なし	なし	
	学習支援ソフト	各小中学校へ配布	各小中学校へ配布	1人1台端末にプリインストール	
事業の課題		新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、多くの取組を実施することができなかつた。かろうじて、感染状況を判断しながら小中高の最高学年だけを集めた合同文化鑑賞会(奈良フィルオーケストラ)が実施できた。また、総合学習の合同発表は発表内容をDVDの形で情報交換したが、質疑応答ができないため深まりにかけた。次年度においては、感染予防を徹底しながらも、各種取組を創意工夫して実施したい。			
事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	十津川地域における連携教育を推進するため、「推進委員会」「事務局会議」「ワーキンググループ」が設置され、特にワーキンググループにおいては「特別活動部会」「生徒指導部会」「総合学習部会」「各教科部会」において、小中高合同文化鑑賞会・中高合同総合発表会・各校の生徒指導の情報共有や共通課題の認識等が行われている。村内全教員で村の子どもの教育に取り組み取組は非常に大切であると考えます。今後も新型コロナ感染防止の観点も踏まえながら創意工夫した実施を期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

2

事務事業名	ICT教育・GIGAスクール構想事業
-------	--------------------

事業の目的	多様な見方や考え方触れ、コミュニケーション力を育てる手立てのひとつとして、ICTを適切に活用した学習環境を整える。
事業の内容	中学校のコンピューター室パソコンと児童生徒に一人一人が使用出来るchromebookと校内のLANを整備する。

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	0	11,927	0
	一般財源	8,478	15,286	0

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容及び成果	校内LAN工事	校	0	3
	chromebook整備	台	0	186
	職員室等PC整備	台	42	0
事業の課題		アプリケーションや教育コンテンツの使用について教職員の意見を充分反映し、各学校でのICT活用を推進しなければならない。		
事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	村内学校の情報機器の整備は着実に進んでいます。今後も国の事業等を活用し、より一層整備されることを期待します。その際、学校現場の教職員の意見を聴取するとともに、年々進化する情報機器を使いこなす教職員を育成するための研修会のより一層の充実を期待します。
--------	--

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

3

事務事業名	特別支援教育
-------	--------

事業の目的	<p>【教育相談事業】配置した教育相談員の指導・助言を参考にして、県の高田子ども家庭相談センターや福祉関係の諸機関・行政・医療機関などと連携を図る。</p> <p>【特別支援教育就学奨励費】小・中学校の特別支援学級への就学の充実を図るために、障がいのある児童生徒等の保護者等の経済的負担を軽減するために必要な援助を行い、もってこれらの学校への就学を奨励するとともに特別支援教育の振興を図る。</p>
事業の内容	<p>【十津川村教育支援委員会】 特別な支援を必要とする幼児・児童及び生徒の適正な教育支援に関して審議を行う。 委員:任期2年、11名を委嘱(学識経験者・医師・行政機関・教育機関) 会議:年間3回開催 【教育相談事業】(奈良教育大学:越野和之教授) 村立保育所(3カ所)・村立小中学校(3校)を訪問し、観察・助言・指導を行い、村内の幼児・児童・生徒に関する特別支援教育や就学・修学を支援する。 【特別支援就学奨励費】 特別支援学級へ入級している児童生徒へ学用品費及び新入学児童生徒学用品費等を支給した。</p>

事業コスト (単位:千円)	令和元年度(決算)		令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	861	789	983
	特定財源	104	136	201
	一般財源	757	653	782

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組み内容結果	児童数(知的)	人 2	1	2
	児童数(情緒)	人 10	16	18
	生徒数(知的)	人 2	2	2
	生徒数(情緒)	人 2	0	2
	教育相談訪問回数	回 12	16	16
事業の課題		・特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が増加している傾向がある。 ・学校現場における人手不足が課題となっており、支援員の確保が求められる。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	教育相談員として大学教員を配置し、より専門的な見地から特別支援教育及び就学・修学支援が行われています。学識経験者・医師等を委員として委嘱し審議会が年3回、教育相談事業は年16回実施されています。特別な支援を必要とする子どもたちの増加及びそれに伴う支援員の確保など課題は山積していると思われますが、今後もすべての子どもたちを大切にする教育を進められることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

4

事務事業名	スクールカウンセラー派遣事業
-------	----------------

事業の目的	児童生徒・保護者・教職員の悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能や教育相談体制の充実を図るため、心理臨床の専門知識や経験をもつ人材を活用する。
事業の内容	年間54時間(1日6時間で9日間)分のカウンセリングを実施。その派遣回数は、思春期の不安定さを考慮し、中学校に重きをおきながら、2つの小学校でも複数回実施している。各学校のカウンセリング担当教諭が、カウンセラー来校までに、1日の時間調整を行う。基本的にカウンセリング内容は、守秘義務によりカウンセラーから発信されることはないが、その内容が生徒指導や自殺などに発展する危険性を感じるような重大事象または、虐待等に関連する事象の場合は、カウンセラー・当該校教員・村教育委員会の関係者によるケース会議を持つことで、早急かつ慎重な対応をとることとなる。この事業は、県費により実施されている年間44時間のカウンセリングを、さらに充実補完するために実施されている。

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	374	334	412
	特定財源	0	0	0
	一般財源	374	334	412

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	十津川中学校	回	6(3)	5(3)	5(4)
	十津川第一小学校	回	1(2)	2(2)	2(2)
	十津川第二小学校	回	2(2)	2(2)	3(2)
		※()内は県費による実施回数	※()内は県費による実施回数	※()内は県費による実施回数	
事業の課題			カウンセリングへのハードルを下げるための取組として子ども全員対象に短時間のカウンセリング体験を継続実施している。悩みを出せないでいる子ども(特に中学生)にカウンセリングの機会を増やしていきたいが、当該の児童生徒からの面談希望が少ない現状が依然としてある。SNS等の問題を含め、子ども達を取り巻く多用な状況を鑑み、今後も県費のみならず村費によるこの事業を存続したい。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	昨今の情報化社会の進展により、匿名によって他者を誹謗中傷したりする事案が多発しています。学校教育においていじめ問題等は後を絶ちません。このような中、県費により実施されている事業を充実させる事業に取り組まれていることは大変意義があることであると考えます。今後も充実されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

5

事務事業名	外国青年招致事業(ALT)
-------	---------------

事業の目的	各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う。また、外国語教育において児童生徒が生きた外国語に触れたり、国際理解教育の向上を目的にALTを配置し、授業の補助を実施する。
事業の内容	<p>○村が継続的に任用できる期間:5年 勤務時間:8時30分から16時15分 週35時間 ○十津川第一小学校…毎週水・金曜日勤務 ○十津川第二小学校…毎週火・木曜日勤務 ○中学校…月に1回勤務 ※年に2~3回保育所も訪問</p> <p>【内容】 英語授業の助手、発音指導。コロナで休校中には、英語の家庭学習用DVDを作成し、児童生徒に配布。自治体放送を利用してテレビ授業を行った。</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	4,696	4,460	4,541
	一般財源	0	0	0
		4,696	4,460	4,541

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	訪問数(小学校)	日	147	120	150
	訪問数(中学校)	日	10	15	13
事業の課題			・外国語科担当教員等に対する研修補助や語学に関する情報提供 ・特別活動や部活動等への協力 ・地域における国際交流等への協力 ・その他、所属長や校長が認める職務を追加する		
事業の評価	B		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	小学校へ総訪問日数150日、中学校へ総訪問日数13日また、村内保育所にもALTを派遣するとともに、コロナ禍で休校中には、英語の家庭学習用DVD作成協力、自治体放送を利用してテレビ授業を行うなど積極的にALTを活用しています。小学校の英語の教科化及び異文化理解の観点においても評価できる取り組みです。今後は外国語科教員とのより一層の連携、部活動指導・特別活動指導そして地域における国際交流活動等により活動の幅を広げられることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

6

事務事業名	防災教育
-------	------

事業の目的	日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りのできる児童生徒を育成する。 また予告なく発生する地震等の災害時において、柔軟に対応のできる教職員の資質を育成する。
事業の内容	・各校が作成した防災計画や危機管理マニュアルを点検見直しを行う。 ・令和元年度は教員及び教育委員会職員を受講対象に、五條消防署十津川分署の署員5名による防災教育講演会を実施した。令和2年度は児童生徒も参加対象に追加し、規模を拡大して防災教育講演会を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策の為、中止となった。※令和元年度の研修内容は「災害発生時における各種対応」～ロープワーク・止血法・毛布等によるけが人の搬送等～

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	0	0	0
	一般財源	34	0	100

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	参加児童	人	0	0	35
	参加生徒	人	0	0	43
	参加教員	人	18	0	20
	参加職員	人	2	0	2

事業の課題	今後も毎年、防災計画や危機管理マニュアルを点検見直しを行い、活用しやすいマニュアルにしていく必要がある。また、小中高でそれぞれ行われる防災研修情報を周知することで、その研修回数を増やし教員のスキルアップにつなげるとともに、教職員だけでなく、災害時において主体的に判断し行動できる児童生徒を育成する必要がある。				
事業の評価	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>				

有識者の所見	村教委において各校が策定した危機管理マニュアルや学校安全計画を点検するシステムが作られています。令和2年度は五條消防署による「防災教育講演会」が開催予定されていたが、コロナ感染拡大防止の観点から開催が見送られている。今後はオンライン開催も含めて、コロナ禍における開催の在り方を検討されることを期待します。				
--------	--	--	--	--	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する			<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する			<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する			<input type="checkbox"/> 終了・完了	

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

7

事務事業名	森林環境教育
-------	--------

事業の目的	森林内でのさまざまな活動等を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深める。
事業の内容	<p>【十津川第一小学校】実施学年5年生 森林・林業に関する学習、間伐体験、木工工作</p> <p>【十津川第二小学校】実施学年5年生 間伐体験、木工工作、薪作り体験</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	41	53	60
	一般財源	0	0	0
		41	53	60

取組内容 及び成績	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	十津川第一小学校	人	6	4	6
	十津川第二小学校	人	10	13	12
事業の課題			体験を振り返り、自分と森との関わりを理解して、自ら何ができるのかを考えるよう児童の理解・関心を深めて、意欲を引き出していく必要がある。		
事業の評価	B	A	十分成果が上がっている		
	B	B	成果が上がっている		
	B	C	十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある		
	B	D	ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	森林環境教育は十津川村の特性を活かし、十津川の子どもたちに地域のすばらしさや誇りを培う大切な教育であると考えます。小・中学校・高等学校が連携しより一層の充実されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

8

事務事業名	食育
-------	----

事業の目的	食に関して興味・関心・感謝の気持ちを持ち、進んで健康づくりに努める児童生徒を育成する。
事業の内容	<p>【絆給食】新十津川町産の食材を提供し、新十津川町との関わりを学ぶ郷土料理の一環としている。 1学期:スイートコーン 3学期:新米(ゆめびりか)</p> <p>【地場産物給食】食料の生産等に対する子どもの関心と理解を深めるとともに、地産地消を進め、地域の食文化を継承するための取組 献立:ジビエ(鹿肉)を使った『鹿肉のからあげ』、村内地元農家のタマネギを使った『オニオンスープ』等</p> <p>【学校給食運営会】各校の給食主任が食育計画・食育活動について報告を行い、情報・取組を共有して、食育活動を推進している。</p> <p>食育取組例:栄養教諭による献立説明・給食指導、食育だよりを用いた家庭との連携、行事食カードの作成、給食川柳の作成等</p>

事業コスト (単位:千円)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	25	48
	特定財源	0	0
	一般財源	25	48

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	絆給食	円 24,498	37,190	40,000
	地場産物給食	円 0	10,368	105,000
事業の課題		・絆給食や地場産物給食は、新十津川町と十津川村の関わり・地誌への理解や地産地消に関する理解を深める効果が期待できる取組である。 ・児童生徒たちが「食」に関する知識を身に付け、健全な心身を培うための「食」を選択する力を養う必要がある。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	学校給食運営会が開催され、各校の給食主任が食育計画・食育活動についての報告、情報・取組の共有が行われ、栄養教諭による献立説明・給食指導、食育だよりを用いた家庭との連携、行事食カードの作成、給食川柳の作成等、さまざまな食育活動を推進されています。また、絆給食として、新十津川町との関わりを学ぶ郷土料理、地場産物給食として、ジビエ料理の提供など十津川村ならではの食育が展開されています。高く評価したい。今後も充実されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

9

事務事業名	サマースクール事業
-------	-----------

事業の目的	基礎的・基本的事項の徹底を図り、体験的な学習、問題解決的な学習により、自ら学ぶ力、考える力を育て、確かな学力を育成する。
事業の内容	奈良教育大学教職大学院と村教育委員会の共催で、8月下旬の3日間、十津川第一小学校を会場として実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止となった。

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	125	0	345
	一般財源	0	0	
	合計	125	0	345

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	参加児童数	人	10	0	8
事業の課題			新型コロナウイルス感染症の状況を判断しながら、事業実施のためにその形態を工夫する必要がある。		
事業の評価			A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	奈良教育大学教職大学院と連携した「サマースクール」は十津川の子どもたちがさまざまな学びを経験する上で、大変意義深いものであると考えます。 コロナ禍においてはオンライン開催など開催の在り方を検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

10

事務事業名	学校施設整備事業
-------	----------

事業の目的	学舎環境を整え、「村の宝」である児童生徒が充実した義務教育の修学ができるように施設整備に努める。
事業の内容	令和2年度は、以下の改修を実施した。 ●十津川第一小学校改修工事 9,994千円(廊下天井及び職員室・一部教室床) ●十津川第一小学校チャイム取替工事 412千円 ●十津川第一小学校駐車場舗装工事 1,177千円 ●十津川第一小学校校章銘板設置工事 418千円 ●十津川第一小学校維持修繕工事 176千円 ●十津川第一小学校グラウンド整備工事 328千円

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	69,044	12,505	3,500
	一般財源	20,966	0	0
事業費	48,078	12,505	3,500	

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	十津川第一小学校	円	67,073,520	12,504,800	1,000,000
	十津川第二小学校	円	0	0	1,000,000
	十津川中学校	円	1,970,220	0	1,500,000
事業の課題			老朽化が進んでいる十津川第一小学校をはじめ、十津川中学校も建築から10年経過することから、計画的な修繕が必要である。		
事業の評価	A		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	十津川第一小学校校舎をはじめ駐車場、グランド等の整備が確実にされています。限られた予算の中、村教育委員会事務局の苦労も多いかと思いますが、十津川中学校をはじめ村内園・学校の施設整備も計画的にされることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

11

事務事業名	厨房機器整備事業
-------	----------

事業の目的	子どもたちへの安定した給食調理の実施を図る。
事業の内容	十津川第一小学校の調理場の「真空冷却機」の入替を行った。

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源		2,805	2,320
	一般財源		2,805	2,320

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容及び成果	真空冷却機 (一小)	千円	2,805	
	食器洗浄機 (一小)	千円		1,385
	消毒保管機 (一小)	千円		935
事業の課題		現在も動作不良等による修繕を繰り返し使用している厨房機器が存在する。毎日の子どもたちへの安心・安全な給食を提供する調理業務に大きな支障をきたす恐れがあるため、今後も定期的に厨房機器の入替えを行いたい。		
事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	子どもたちの安全・安心な給食を提供するため、限られた予算の中、村教育委員会の苦労も多いかと思いますが、今後も計画的に厨房機器整備をされることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

12

事務事業名	教職員住宅整備事業
-------	-----------

事業の目的	へき地教育振興法第3条第1項第2号の規定に基づき、へき地学校に勤務する教職員のための住宅の建築・斡旋等を行い、へき地教育の水準の向上を図る。
事業の内容	令和2年度の事業 折立教員住宅1号・2号分電盤設置工事 168千円 西川教職員住宅6号・7号改修工事 3,022千円

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	275	3,190	300
	一般財源	0	0	0
		275	3,190	300

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	改修箇所	件	1	2	1
事業の課題			住宅の老朽化や村出身の教職員の減少により、建替や改修など早急な整備が求められている。		
事業の評価	B		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	折立教員住宅1号・2号分電盤設置工事、西川教職員住宅6号・7号改修工事が行われています。限られた予算の中、村教育委員会の苦労も多いかと思いますが、今後も計画的に教職員住宅の整備をされることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

教職員・児童生徒の保健安全に関すること

事業No.

13

事務事業名	通学路
-------	-----

事業の目的	安心・安全な小・中学生の通学路の確保
事業の内容	各学校代表、道路管理者(県・村)、警察、村営バス(スクールバス管理者)代表、保育所担当者、で通学路安全推進協議会議を行い村内通学路にある危険個所を点検し対策を行う。

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	0	0	0
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	危険点検箇所	箇所	2	3
	改善箇所	箇所	2	2
事業の課題		通学路の危険個所は年々対策はされてきているが、物理的に無理な箇所や対策に多額の費用が必要な箇所が残ってきている。		
事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	通学路安全推進協議会議(各学校代表、道路管理者(県・村)、警察、村営バス(スクールバス管理者)代表、保育所担当者)において村内通学路にある危険個所を点検し、令和2年度において危険点検3箇所、改善2箇所の対策が行われている。今後も安心・安全な通学路の確保に努められることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

教職員・児童生徒の保健安全に関すること

事業No.

14

事務事業名	学校保健事業
-------	--------

事業の目的	学校医及び学校歯科医、学校薬剤師等により、各学校における児童生徒、教職員の健康管理、指導を行い、子どもたち自身の保健衛生の考え方や安全等への関心を高めると共に、自己管理能力が育つよう努める。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●学校医:已波健一／神戸大介(十津川第一小学校・十津川中学校) 中川貴之(十津川第二小学校) 児童生徒健康診断(年2回)・教職員健康診断(年1回) ●学校歯科医:下西誠市(全校) 児童生徒歯科検診(年2回※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため1回) ●学校薬剤師:山下真経(全校) 各学校環境衛生検査・薬物乱用防止教室を実施。 ●ツッ化物洗口事業を実施。奈良県歯科衛生士会による歯科指導は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 ●感染症対策(結核等) 五條・内吉野感染症対策委員会を開催。

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	1,890	1,680	2,113
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容及び成果	健康診断	円	1,219	1,216
	歯科検診	円	554	419
	歯科衛生指導	円	117	45
	虫歯保有率 (小学生)	%	30.7	37.3
	虫歯保有率 (中学生)	%	67.9	61.7
事業の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染症対策や予防の指導を行うと共に、感染症対策に対応した健康診断等の実施をする必要がある。 ・村の12歳児の平均虫歯本数(DMF)は県内ワーストを推移しており、今後も歯磨き指導を行うとともに、保護者に対しても歯科衛生の啓発を行っていきたい。 		
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である 		

有識者の所見	学校医及び学校歯科医、学校薬剤師等により、各学校における児童生徒、教職員の健康管理、指導が行われています。村の12歳児の平均虫歯本数(DMF)がなかなか改善されない現状が続いていますが、家庭とも連携して粘り強い指導を期待します。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染症対策や予防の指導を行うと共に、感染症対策に対応した健康診断等の実施の在り方を検討されることも期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

15

事務事業名	学校給食無償化事業
-------	-----------

事業の目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の内容	<p>村内小・中学校に通う児童生徒の学校給食費を無償化する。 (※教職員及び来校者からは給食費を徴収)</p> <p>村内では小学校2校・中学校1校にて、自校方式で調理を行い、完全給食を実施している。 また、教育事務委託児童生徒(和歌山県新宮市立小・中学校)の保護者が負担した学校給食費の実費を補助した。</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	12,099	12,500	13,107
	一般財源	2,356	2,614	2,618
		9,743	9,886	10,489

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容及び成果	小学校人数	人	128	131
	中学校人数	人	81	73
	小学校年間給食数	食	179	191
	中学校年間給食数	食	175	189
	小学校給食費／日	円	304	315
	中学校給食費／日	円	355	350
				335
事業の課題				
事業の課題		給食用物資を納入できる業者が限られている中で、給食の栄養価やエネルギー量を維持しながらも食材費を抑える工夫が必要である。またアレルギー疾患を持つ児童生徒への代替食対応の為に特定の食材を少數納入することが難しい現状にある。		
事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	村内の小・中学校において自校式の完全給食が実施されています。また、給食費無償化が実施され、これらの取組は、保護者の経済的な負担を軽減させるだけではなく、教職員の給食会計事務の負担を軽減することにもなっており高く評価したい。 限られた予算の中、給食物資の確保や給食アレルギー疾患等をもつ児童生徒への対応など苦労は多いかと思うが、今後も安心・安全な学校給食を提供されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

16

事務事業名	通学費補助事業
-------	---------

事業の目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の内容	村内小学校2校・中学校1校の児童生徒の通学に係るスクールバス定期代を補助する。 バス定期代については、村営バス管理主管課である総務課で通学費の補助を行っている。 また、和歌山県新宮市へ教育事務を委託している小学生2名の通学に係る通学バス定期代及びタクシー代の補助を行った。※令和2年9月末をもって利用していたバス路線が廃止となった為、以降は登校・下校共にタクシーを利用することとなった。

事業コスト (単位:千円)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	933	1,381
	特定財源	151	263
	一般財源	782	1,118
			1,353

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	利用児童数	人	82	85	83
	利用生徒数	人	51	40	36
	委託児童生徒数	人	2	2	2
事業の課題			今後も通学可能な環境を維持することが必要である。		
事業の評価	A		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	スクールバスの運行や通学費の補助を行うことは、遠距離通学の必要がある児童生徒や保護者の負担軽減するうえで大切な取り組みであると考えます。新宮市へ教育事務委託している児童生徒に対しても通学バス定期及びタクシー代の補助がなされています。財政状況の厳しい中においても就学支援制度が維持されていることは高く評価したい。今後も事業の継続をお願いしたい。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

17

事務事業名	修学旅行費補助事業
-------	-----------

事業の目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の内容	<p>予算の範囲内で村内小学校6年児童・中学校3年生徒の修学旅行費を全額補助した。</p> <p>【十津川連合小学校】令和2年11月9日(月)～11日(水)：京都方面 【十津川中学校】令和2年10月26日(月)～29日(木)：四国方面</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、公共交通機関を利用しない貸切観光バスを利用する旅程に変更した。旅程変更に伴い、例年に比べ旅行費用は増額したが、GoToトラベルキャンペーンの適用により補助必要額が下がった。</p>

事業コスト (単位：千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	3,233	1,932	2,476
	特定財源	0	0	0
	一般財源	3,233	1,932	2,476

取組内容 及び成績	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	児童数	人	16	14	17
	小学校引率者数	人	4	4	4
	生徒数	人	24	18	12
	中学校引率者数	人	4	4	4
	小学校修学旅行費	円	923,616	792,338	1,063,300
	中学校修学旅行費	円	2,309,048	1,139,233	1,412,400

事業の課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じた旅程に変更したが、令和3年度にも旅程変更が必要となる可能性が高い。場合により延期等の対応を考慮しながらも、修学旅行を実施できるように旅行会社・実施校と連携を図る必要がある。				
-------	--	--	--	--	--

事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	---	--

有識者の所見	小・中学校の修学旅行費が全額補助されています。保護者の経済的負担の軽減、子育てしやすい村づくりの観点からこれらの取り組みを高く評価したい。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策の為、公共交通機関を利用しない貸切観光バスを利用する旅程に変更されている。今後も子どもたちの安全を最優先にして修学旅行を実施されることを期待します。				
--------	--	--	--	--	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

18

事務事業名	放課後子ども教室
-------	----------

事業の目的	保護者の就労促進の一助となるよう、放課後や長期休業中において、子どもたちが安心安全で健やかな活動ができる居場所を確保するとともに、放課後の時間を利用し、各種教室を通して学習意欲の向上に繋げる。
事業の内容	火・水・木曜日の放課後に、長期休業中は、月・水曜日に放課後子ども教室を開催していたが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、小学1年生から3年生までを対象とし、就労等で昼間子どもを見守れる大人がひとりもいない家庭の児童を対象に預かりを行った。 ○開催日(平日):4月14日~30日/5月11日~20日/6月1日~3月31日/夏期3日・冬期2日・春期3日(※土・日・祝日以外)

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	2,497	2,348	4,367
	特定財源	540	626	666
	一般財源	1,957	1,722	3,701

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	登録数(一小)	人	37	7	3
	登録数(二小)		47	13	6
	登録数(夏期)		64	8	27
	登録数(冬期)		59	8	27
	登録数(春期)	—		10	27
		※全校対象	※1年~3年生対象	※1年~3年生対象	
事業の課題			・新型コロナウイルス感染症対策に対応した実施を検討する必要がある。 ・見守りしてくれるサポーターの扱い手不足 ・開催日数の検討		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	火・水・木曜日の放課後、長期休業中は、月・水曜日に放課後子ども教室が開催されている。新型コロナウイルス感染症対策に対応した実施の検討、サポーターの確保など課題は多いと思いますが、就労している保護者の負担軽減と、子どもたちのより多くの学びの場の確保の観点からも、今後もよりよい運営の在り方を検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

19

事務事業名	就学援助
-------	------

事業の目的	児童生徒が安心して義務教育を受けることができるよう、生活保護に準じる程度の経済的困難者に対し支援を行う。
事業の内容	準要保護と認められた児童生徒の学用品費の補助を行った。また、準要保護の認定について明確な基準を定めた要綱を新たに整備した。

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	10	23	224
	一般財源	0	0	0
		10	23	224

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	要保護児童生徒数	人	0	0	1
	準要保護児童生徒数	人	1	2	1

事業の課題	支援が必要な保護者等が適切な援助を受けられるように制度の周知や学校との連携を図る必要がある。					
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である				

有識者の所見	準要保護の認定について明確な基準を定めた要綱が整備され、経済的理由により就学が困難な児童生徒へ学用品費などの補助が行われています。今後、制度の周知や学校との連携を密にして全ての子どもたちが経済的に安心して通学できるよう、今後も支援されることを期待します。				
--------	---	--	--	--	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

20

事務事業名	奨学資金貸付事業
-------	----------

事業の目的	向学心に富んだ高等学校以上の生徒や学生に対し、奨学金を貸与する。
事業の内容	<p>新たに1名の新規貸与の認定を行った。</p> <p>【令和2年度実績】 月30,000円 貸与6名 月20,000円 貸与2名</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	3,240	3,210	3,360
	一般財源	1,761	2,281	2,681
		1,479	929	679

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	貸付額	千円	3,240	3,210	2,280
	現年度償還額	千円	1,340	1,665	2,600
	過年度償還額	千円	420	615	700
	新規貸与者	人	5	1	1
	償還滞納者	人	9	7	5
	償還滞納額	千円	2,115	1,755	1,500
事業の課題			・滞納者に対する徴収の強化。 ・年々借入者が少なくなってきたため効果的な広報が必要である。		
事業の評価	B	A	十分成果が上がっている		
		B	成果が上がっている		
		C	十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある		
		D	ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	向上心に富んだ高校生以上の生徒や学生に対しての奨学金を貸与する事業が用意されています。ただ奨学金の返還に応じない滞納者への対応について課題があります。奨学金貸与する際の償還計画のより厳密な審査や保証人との連携をより密にするなど対応策を検討されることを期待します。	
--------	---	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

21

事務事業名	社会教育委員
-------	--------

事業の目的	村民の生涯学習への意識を深め、学習意欲を醸成するため社会教育活動、並びに学習体系づくりの推進。特に乳幼児家庭教育学級を支援し、家庭における教育力の向上を図る。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●社会教育委員(任期:令和2年4月1日～令和4年3月31日)議長1名、副議長1名、委員4名 ●社会教育委員の主な活動:定例会議(年6回)、乳幼児家庭教育学級の開催、文化祭や各村内行事への参加。奈良県社会教育委員連絡協議会、奈良県社会教育研究大会、奈良県社会教育学校への参加。※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、乳幼児家庭教育学級の開催や文化祭への参加は中止。定例会議のみ開催した。(1回は中止)

事業コスト (単位:千円)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	815	683
	特定財源		
一般財源	815	683	756

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容及び成果				
事業の課題		次年度以降、新型コロナウイルス感染症により各種行事や研修等が減少した場合の活動への関わり方を検討する必要がある。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、乳幼児家庭教育学級の開催や文化祭への参加は中止するなど、活動の幅がかなり制限される状況になっている。新型コロナ感染防止対策を講じる中で可能な運営の方策を検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

22

事務事業名	乳幼児家庭教育学級
-------	-----------

事業の目的	子育てに関わる全ての人や乳幼児を抱える保護者と乳幼児を対象とした教室を開催し、安心して子育てできるよう専門家等からの基礎知識を培う。また、保護者の育児ストレスを軽減し、楽しく育児ができるきっかけとなるような教室を行う。
事業の内容	○乳幼児家庭教育学級：年3回程度開催（例：救急対処講習、音楽療法など） ※令和2年度は、親子ヨガ教室（講師：林井絆子氏）を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止。

事業コスト (単位：千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	20	0	63
	特定財源			
	一般財源	20	0	63

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	
		参加者数(保護者)	人	28	0
取組内容及び成果	参加者数(幼児)	人	36	0	5
事業の課題					
事業の評価		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、親子ヨガ教室の開催を中止するなど、活動の幅がかなり制限される状況になっている。新型コロナ感染防止対策を講じる中、可能な運営の方策を検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

23

事務事業名

新十津川町との交流事業

事業の目的	新十津川町の児童生徒及び青年と、村の児童生徒及び青年の交流を行うことで、若者が十津川村の歴史と先人たちが築いた新十津川町の歴史を学びあい、互いの絆の結びつきを強める機会を創出する。
事業の内容	①新十津川町小・中学校の児童生徒の、十津川村の児童生徒との交流及び研修 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ②新十津川町青年と十津川村青年の交流事業 ※新十津川町への訪問と受入を隔年で行っている。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	1,046	0	1,500
	一般財源	0	0	0
		1,046	0	1,500

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	①参加者数	人	27	0	28
	①事業費	千円	796	0	1,000
	②参加者数	人	4	0	5
	②事業費	千円	250	0	500
事業の課題	研修内容については前回を踏襲したものがベースとなるが、参加者の希望に応じた行先の変更や、新しくできた施設の見学など、見直しをしながら立案し、より有意義な研修となるようにしたい。				
事業の評価		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、「新十津川町小・中学校の児童生徒の十津川村の児童生徒との交流及び研修」、「新十津川町青年と十津川村青年の交流事業」などが中止されている。新型コロナ感染対策を講じる中、新十津川町とも協議され、オンライン開催など可能な内容及び運営の方策を検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

24

事務事業名	成人式式典事業
-------	---------

事業の目的	新成人対象とした式典や記念講演を行い、新成人をお祝いすると同時に、成人としての自覚と新たな決意を持つもらう。
事業の内容	<p>○令和3年1月3日(日) 十津川中学校体育館で開催 参加者13名(対象者23名)</p> <p>○記念講演の開催 演題「かなわなかつた夢の先に」 講師 シンガーソングライター 教恩寺第六世住職 やなせ なな氏</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	0	0	0
	一般財源	450	450	450

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	新成人対象者	人	32	23
	新成人参加者	人	25	13
				24
				21
事業の課題		成人対象年齢が18才となるが、20才を迎える歳に成人式を行う事の周知が必要。		
事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	新成人をお祝いする会が、シンガーソングライターで教恩寺第六世住職でもある「やなせ なな氏」を講師に迎えて開催されています。新型コロナ感染対策を図りながら開催されたことに敬意を表したい。今後も新型コロナ感染対策を講じながら、参加者の安全・安心を確保し、無理のないかたちで開催されることを希望します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

25

事務事業名	公民館事業
-------	-------

事業の目的	地域の住民の集う施設として、生活文化の振興や、社会福祉の増進等に寄与することを目的とする。
事業の内容	<p>教育委員会が管轄している公民館は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十津川村公民館上野地分館 ・十津川村迫西川地区公民館 ・十津川村小井地区公民館 ・十津川村谷垣内地区公民館 <p>※令和2年度は特に改修等なし</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	28	30	30
	一般財源	0	0	0
		28	30	30

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容及び成果				
事業の課題		十津川村公民館はどれも事実上の地区集会所として機能しており、管理は基本的に各地区で行っていることから、公民館としての立ち位置については今後検討が必要である。		
事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	村教育委員会は「十津川村公民館上野地分館」「十津川村迫西川地区公民館」「十津川村小井地区公民館」「十津川村谷垣内地区公民館」を管轄しているが、公民館は生活文化の振興や、社会福祉そして社会教育活動を行う拠点としても重要な施設であると考えます。今後より一層有効な活用方策について検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--	---

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

26

事務事業名	のら文庫
-------	------

事業の目的	村内に図書館施設が無い事から、社会的な情報や文化的な知識を、村民が必要とする際に提供できる「知的」公共サービス事業として、子育て世代や子どもたちへの絵本や図鑑等を通じた初等教育や村内生活の豊かな場となるよう運営を行う。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への図書の貸し出し・返却 ・配架・整理、蔵書確認、返却延滞への対応 ・「村報」等広報誌を活用した新着図書紹介や特集 ・話題の図書や要望の高い書籍の購入 ・村民が多く集う十津川村文化祭を活用し、重複本や傷んだ図書等の無料頒布(リサイクルブック展)を行った。

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	661	669	643
	一般財源	0	0	0
		661	669	643

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	延べ利用者数	人	1,104	825
	延べ貸出冊数	冊	4,942	3,463
	購入図書数	冊	412	315
				350
事業の課題				
事業の課題		図書サービスをより充実させるための図書スペースが不足している。 1.図書の充実のため、閉架スペースの設置 2.村民がほしい本を閉架図書から探すための検索システム 3.親子や閲覧者が図書を利用できるイスや机がある閲覧スペース		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	村内に図書館施設がない状況で、コロナ禍においても貸出人数約六百人強、貸出資料数約3千5百冊と村民の一定の利用があることがうかがえます。今後は、図書の充実のため、閉架スペースの設置、図書の検索システムの充実、「ゆめ文庫」の休館とそれに伴う「のら文庫」への配架転換など課題がある中、よりよい運営の在り方をより検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

27

事務事業名	社会教育関係等団体指導育成事業
-------	-----------------

事業の目的	十津川村の社会教育関係団体の健全な育成を図り、社会教育の振興に資する。
事業の内容	<p>下記の団体に補助金を交付している。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により満足に活動を行えなかつた団体が多い。</p> <p>十津川村青年団／十津川村婦人会／十津川村子ども会連絡協議会／十津川村PTA協議会／十津川村人権教育推進協議会／十津川村文化協会／古民舞保存継承団体(武藏踊保存会／小原踊り保存会／平谷餅搗き踊り保存会／西川大踊り保存会／出谷踊り保存会／小原子ども会／西川子ども連合会)／十津川村体育協会／十津川剣道クラブ／南十津川少年剣道クラブ</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	6,586	2,407	7,475
	一般財源	0	0	0
		6,586	2,407	7,475

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
			令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
青年団	青年団	人	40	40	40
		円	638,103	43,712	905,000
	婦人会	人	120	116	116
		円	798,085	244,842	860,000
	子ども会連絡協議会	人	101	95	96
		円	1,185,844	24,982	1,250,000
	PTA協議会	人	161	157	158
		円	395,602	134,262	448,000
	人権教育推進協議会	団体	20	20	20
		円	580,050	86,386	690,000
文化協会	文化協会	団体	8	8	8
		円	630,000	630,000	630,000
	武藏踊保存会	円	178,350	0	180,000
	小原踊り保存会	円	178,097	178,581	180,000
	平谷餅搗き踊り保存会	円	180,000	424,000	180,000
	西川大踊り保存会	円	180,000	125,949	180,000
	出谷踊り保存会	円	180,000	165,950	180,000
	小原子ども会	円	30,000	0	—
	西川子ども連合会	円	39,508	110,000	40,000
	体育協会	団体	8	8	9
		円	921,674	201,703	1,050,000
十津川剣道クラブ	円	0	0	1,360,000	
	南十津川少年剣道クラブ	人	4	2	2
		円	342,000	35,922	342,000

事務事業評価シート

事業の課題	補助金額が固定化されており、活動実態に合わせた見直しが必要である。		
事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である	

有識者の所見	十津川村の社会教育関係団体の十津川村青年団、十津川村婦人会、十津川村子ども会連絡協議会など各種団体に補助金が交付されている。活動実績に合わせて交付額を決定するなど交付の在り方を検討されることを期待します。		
--------	--	--	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

28

事務事業名	歴史民俗資料館
-------	---------

事業の目的	民俗資料及び歴史資料等を総合的に保存、活用し、もって郷土の歴史と文化財に対する住民の知識と理解を深めることを目的とする。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館の開館(9:00～17:00まで 火曜・年末年始休館) ・史料の寄贈受付及び保管 ・収集史料の記録・整理作業

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	10,704	8,918	11,175
	一般財源	0	0	0
		10,704	8,918	11,175

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	入館者数	人	1,896	1,204
	入館料収入	円	499,995	330,300
				525,000
事業の課題	村の歴史や資料を活用した展示や図録刊行、HP等の情報公開を充実 (村内外への周知活動を活発に行い、来館者やwebでの利用者を増やす)			
事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	歴史民俗資料館は、十津川村の歴史・文化等を後世に継承する役割等を担っているだけではなく、十津川の子どもたちに郷土のすばらしさを再発見させる重要な施設であると考えます。施設の活用方法及び展示内容、そして周知方法等について、より一層検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

29

事務事業名	教育資料館
-------	-------

事業の目的	廃校に保管されていた教育資料を総合的に保存、活用し、もって郷土の歴史と文化財に対する住民の知識と理解を深めることを目的とする。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育資料の保存・整理 ・毎月第2・第4日曜日に歴史民俗資料館職員で館を無料開放する。(10:00~16:00 4月~11月のみ)

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	68	62	78
	特定財源	0	0	0
	一般財源	68	62	78

取組内容 及び成果	区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
	入館者数	人	74	41	70
事業の課題			教育資料(展示品)の整理とその活用		
事業の評価	C		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	教育資料館は、地域の人々に十津川村の歴史・文化財に対する理解を深めてもらう重要な施設であると考えます。令和2年度の年間入館者数が、コロナ感染状況下を考えて41人は多い人数とは言えません。今後保存・整理、展示、そして周知方法等について、より一層検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

30

事務事業名	山村生産用具収蔵庫
-------	-----------

事業の目的	国指定重要有形文化財「十津川郷の山村生産用具」の整備、保護を行う。
事業の内容	「十津川郷の山村生産用具」の収蔵・整備・点検

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	700	162	1,005
	一般財源	0	0	0
		700	162	1,005

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容及び成果	文化財保護	簡易くん蒸(館内)		簡易くん蒸(館内)
	文化財保護	文化財清掃(館内)		害虫調査
	公開	限定公開(関係者)		限定公開(関係者)
事業の課題		国指定文化財(民具)の状態調査とデータ作成 収蔵庫内の一般公開準備と公開の実施(令和4年12月以降~予定)		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	国指定重要有形文化財「十津川郷の山村生産用具」は、十津川村の先人たちから引き継がれた貴重な文化財であり、後世に残す義務があると思います。今後も国と連携し整備・保護されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

31

事務事業名	むかし館
-------	------

事業の目的	道の駅「十津川郷」の地下階で民俗資料を展示し、十津川村の民俗について気軽に知識や興味を深める機会を設ける。
事業の内容	民俗資料を展示し、施設を無料開放している。

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	入館者数	人	525	438
				400
事業の課題		展示替え(既存の展示設備の撤収および改修と、山間地域に根ざしたテーマによる企画展示)		
事業の評価	D	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	十津川村の歴史、文化、民俗等について展示等を行う関連の施設が歴史民俗資料館、教育資料館、むかし館がそれぞれ設置されています。それぞれ固有の役割を担っている反面、重複する部分もあると考えます。展示内容を抜本的に見直し、「むかし館」の独自性について検討する必要があると考えます。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--	---

事務事業評価シート

文化財の保護に関すること

事業No.

32

事務事業名	文化財審議委員
-------	---------

事業の目的	教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査、審議をするとともに、これらの事項に関して教育委員会に建議する。
事業の内容	文化財保護審議委員 片山・下野・吉見・岡 第1回 令和2年7月15日 令和2年度事業について 玉置神社の文化財について 第2回 令和3年3月5日 令和2・3年度事業について 玉置神社の文化財について

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	22	42	168
	特定財源	0	0	0
	一般財源	22	42	168

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	審議会議	日	1	2
事業の課題		令和2年度は新たに文化財の登録は無かったが、玉置神社における村指定文化財の範囲について検討を行い、継続審議となっている。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	文化財保護審議委員会において玉置神社をはじめ十津川村が有する文化財の保存及び活用について審議されています。今後も村教育委員会と連携され、文化財保護に努められることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

文化財の保護に関すること

事業No.

33

事務事業名	カモシカ保護事業
-------	----------

事業の目的	狩猟用のぐくり罠に捕らわれてしまったり、獣害防止ネットに絡まって自力で脱出できなくなったりしたカモシカ(国の特別天然記念物)を保護するため、獣の扱い等専門知識を有している獣友会に業務を委託し、カモシカの安全かつ適正な保護に努める。
事業の内容	<p>委託先:獣友会十津川支部 委託料:1回15,000円／人 ※保護に当たっては安全性を考慮し2名での対応。 ※既に死亡しているカモシカについては事務局職員で対応。</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	840	1,740	1,500
	一般財源	0	0	0
		840	1,740	1,500

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	保護頭数	頭	28	58
				50
事業の課題		令和元年度に事業を開始してから、カモシカの保護件数が急増した。これまで報告されていなかったカモシカが報告されるようになったためと考えられ、事業の在り方について見直しを検討する必要がある。		
事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	国の特別天然記念物に指定されているカモシカを保護することは重要な役割です。獣友会十津川支部とも連携し、保護後の報告の在り方など事業の運営内容については、更に検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

文化財の保護に関すること

事業No.

34

事務事業名	文化財保存整備事業
-------	-----------

事業の目的	十津川村指定文化財の保存及び修復に必要な補助事業や修繕事業を計画的に実施し、保全・活用に努める。
事業の内容	令和2年度事業 神武社・若宮社改修費補助(玉置神社) 8,231千円 大峯奥駈道史跡改修工事補助(玉置神社) 398千円 防火設備保守点検補助(玉置神社・滝ホテル・辻家住宅) 267千円 文化財火災・地震保険補助(玉置神社) 789千円 滝ホテル小修理補助(滝ホテル) 375千円

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	1,272	10,060	16,853
	一般財源	0	0	0
		1,272	10,060	16,853

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	国指定文化財補助	件	1	2
	県指定文化財補助	件	2	3
	村指定文化財補助	件	1	2
				3
				4
				3
事業の課題		玉置神社の村指定文化財の建物は老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要である。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	令和2年度において、玉置神社の神武社・若宮社改修・大峯奥駈道史跡改修工事、玉置神社・滝ホテル・辻家住宅などの防火設備保守点検などについての補助等が行われています。今後も国及び県とも一層連携し、計画的に文化財の保存に努められることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

35

事務事業名	歴史・文化講座
-------	---------

事業の目的	村内の幅広い世代に参加者を募り、講座を通して、地域の歴史や文化に愛着や誇りを感じてもらい、保全・伝承及び地域振興の活力につなげる。
事業の内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、以下の講座を自治体放送において開催(公開)した。 令和2年8月1日(土) 自然観察会『昆虫観察会』／講師:谷 幸三氏 令和2年9月14日(月) 歴史講演会『再考、維新の内戦』 ／講師:竹本 知行氏、中村 武生氏 令和2年10月7日(水) 体験講座『キノコ観察会』／講師:佐野 修治氏

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	106	164	205
	一般財源	2	0	0
		104	164	205

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	歴史／参加者数	人	18	0
	自然／参加者数	人	20	0
	体験／参加者数	人	19	0
事業の課題		コロナ禍によりとつかわTVでの放送を主として行ってきたが、体験型・ワークショップでは対面による講座・教室が不可欠であり、実施するにあたっては十分な対策や人数制限が必要である。		
事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、「昆虫観察会」、「再考、維新の内戦」、「キノコ観察会」が自治体放送において開催されている。高く評価したい。「歴史・文化講座」は、地域の歴史や文化に愛着や誇りをもち、保全・伝承及び地域振興においても大切な事業であると考えます。今後も新型コロナ感染対策を図りながら、オンライン及び対面の両面から開催の在り方について検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

36

事務事業名	文化祭
-------	-----

事業の目的	村で行われている文化活動を地域に根付かせ、その振興と発展に寄与すること。また、文化祭を通して、村民同士がふれあう機会を持つことにより、交流の場を創出する。
事業の内容	新型コロナウイルス感染症対策のため、舞台・バザー部門は中止とし、展示部門のみの開催とした。これに伴い、展示場所を体育文化センターアリーナに変更し、11月2日は閉館、終了時刻も繰り上げての開催とした。 ●実施期間：令和2年11月1日(9:00～16:00)・3日(9:00～15:00) ●参加団体数：展示部門 25団体・個人

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	855	77	657
	一般財源	855	77	657

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	来場者数	人	600	304
	舞台部門	団体・個人	16	—
	展示部門	団体・個人	25	23
	バザー部門	団体・個人	8	—
				8
事業の課題				
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、舞台・バザー部門は中止とし、展示部門のみの開催となっている。「文化祭」は、村で行われている文化活動を根付かせること、村民同士が触れ合う機会を持つ大切な事業であると考えます。今後も新型コロナ感染対策の観点を踏まえ、可能な限りで開催の在り方を検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

37

事務事業名	村史編さん事業
-------	---------

事業の目的	令和2(2020)年に置村130年をむかえるにあたり、村民意識の高揚を図り、郷土への理解と愛着を深めるため、約60年ぶりに自治体史の編さんを行い、先人が築き発展させてきた想いと歴史を次代に継承し、貴重な遺産を十津川村の創造に繋げる。
事業の内容	<p>村史は、次の基本方針により編さんする。</p> <p>(1)十津川村の歩みを、様々な角度からアプローチして記録する。 (2)地域に埋もれている未発見の史資料を掘り起こし、保存・活用する。 (3)事業の過程で蓄積された資料、調査・研究の成果を事業終了後も充分に活用する。</p> <p>部会は歴史・民俗・自然・地理の4つの部会に分けて上記方針により調査・研究・執筆を行う。 令和2年度は、『130年記念誌』と村史としては初となる『地理・自然編本編』を刊行した。</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
		10,189	16,669	14,593
		特定財源	0	1,200
一般財源		10,189	16,669	13,393

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	報告会	成果報告会(地理)		シンポジウム(地理)
	刊行(歴史)		130年記念誌	歴史資料編(近世1)
	刊行(地理)		村史(地理・自然編)	
	歴史調査	玉置神社文書調査		宝蔵文書調査
	講座・講演会	成果報告講演会(民俗)		歴史講座
	観察会		昆虫観察会(自然)	きのこ観察会(自然)
事業の課題		県内外への史料・文献調査、各部会内(分野時代別)の綿密な打合せ・会議など世情に合わせた積極的かつ柔軟な活動が求められる。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	令和2年度に置村130周年を迎えるにあたり、○十津川村の歩みを、様々な角度からアプローチして記録する、○地域に埋もれている未発見の史資料を掘り起こし、保存・活用する、○事業の過程で蓄積された資料、調査・研究の成果を事業終了後も充分に活用するなどの基本方針のもと、村史編さん事業に取り組まれ、令和2年度は、『地理・自然編本編』が刊行されている。今後も事務局体制を整え、先人が築き発展させてきた想いを次世代に継承するためにもよりよい村史の編さんを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

38

事務事業名	世界遺産体験会
-------	---------

事業の目的	世界遺産や自然を体験する機会を創出し、村内の優れた資源に触れ、そのすばらしさを再認識してもらうきっかけとする。
事業の内容	<p>「釧路ヶ岳の世界遺産ウォーク及び自然観察会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開催時期:5月下旬 ●開催場所:釧路ヶ岳 ●内容:大峯奥駆道にも含まれる釧路ヶ岳を歩くと共に、周辺に生息する動植物の観察会を行う ●参加対象:村民 ●参加費用:500円／人(保険代等) <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	0	0	260
	一般財源	0	0	20
		0	0	240

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成績	参加者数	人	0	0
				40
事業の課題		新型コロナウイルス感染症対策に対応した、開催を検討する必要がある。		
事業の評価		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	十津川村が有する世界遺産を通して、十津川村のすばらしさを再認識する「世界遺産体験会」は意義の高い事業であると考えます。令和2年度においては、新型コロナ感染防止の観点から開催中止となっていますが、今後感染予防対策等を行いつつ、開催の在り方を検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

社会体育施設の管理運営に関すること

事業No.

39

事務事業名	体育文化センター
-------	----------

事業の目的	村民がスポーツ活動や文化活動を行う場として開放することにより、村民の健康増進や、生涯学習の推進、村民同士の交流の深化を目指す。
事業の内容	会計年度任用職員(4名)で管理及び清掃等を行い、村内の社会体育団体等に施設や備品の貸与を行っている。そのほか、文化祭や講演会の会場としても使用されている。(村内の社会体育団体等については使用料を免除) 令和2年度は、煙感知器・水銀灯ランプ・浄化槽フロートスイッチの修繕を実施した。

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	4,163	3,191	18,498
	特定財源	0	0	0
	一般財源	4,163	3,191	18,498

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	利用者数	人	5,345	1,585
	使用料収入	円	0	0
	人件費	円	1,088,495	829,957
	施設維持修繕	円	401,748	160,230
	消費電力	kWh	71,026	47,707
	電気代	円	2,481,856	2,004,691
				2,916,000
事業の課題				
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	「体育文化センター」は、村民の健康増進や、生涯学習の推進、村民同士の交流の場として大切な施設であると考えます。新型コロナ感染拡大により利用者が大幅に減少していますが、今後も施設の修繕・維持に努めらることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

社会体育施設の管理運営に関すること

事業No.

40

事務事業名	十津川村民ひろば
-------	----------

事業の目的	村民がスポーツ活動や文化活動を行う場として開放することにより、村民の健康増進や、生涯学習の推進、村民同士の交流の深化を目指す。
事業の内容	会計年度任用職員(3名)で管理及び清掃を行い、村内の社会体育団体等に施設や備品の貸与を行っている。そのほか、幼児の集団保育や講演会の会場としても使用されている。(村内の社会体育団体等については使用料を免除)令和2年度は、差動式スポット・室外機の修繕及び屋根の修繕調査を実施した。

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	1,665	1,563	2,439
	特定財源	0	0	0
	一般財源	1,665	1,563	2,439

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成績	利用者数	人	3,279	1,104
	使用料収入	円	0	17,000
	人件費	円	319,340	443,607
	施設維持修繕	円	0	366,432
	消費電力	kWh	25,147	17,312
	電気代	円	785,554	544,850
				912,000
事業の課題		・新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少 ・施設の老朽化により修繕が必要な箇所が増えているため、優先度をつけて順次対応する必要がある。 ・調査により屋根頂上部の破損が確認されたため、早期に補修する必要がある。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	「十津川村民ひろば」は、村民の健康増進や、生涯学習の推進、村民同士の交流の場として大切な施設であると考えます。新型コロナ感染拡大により利用者が大幅に減少していますが、今後も施設の修繕・維持に努めらることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

スポーツの振興に関すること

事業No.

41

事務事業名	スポーツ推進委員
-------	----------

事業の目的	スポーツイベントの円滑な進行や、村民のスポーツ参加による健康増進等を図る。
事業の内容	<p>スポーツ推進委員 9名（男6名・女3名）に委嘱している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃のスポーツ活動や、各種研修への参加を通じて、村のスポーツ振興に努める。 ・スポーツイベントの企画、検討及び運営を行う。 <p>①シルバー運動会（中止） ②チャレンジスポーツin十津川（中止） ③十津川村駅伝大会（中止） ※その他、産業課所管の昂の郷マラソン大会等にも関与している。</p>

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	976	745	1,066
	特定財源	0	0	0
	一般財源	976	745	1,066

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	委員報酬	円	706,667	720,000
				800,000
事業の課題		新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツイベントが軒並み中止となっており、スポーツ推進委員の活躍の機会が奪われている。		
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	スポーツ推進委員の委嘱は、スポーツイベントの円滑な進行や、村民のスポーツ参加による健康増進等において重要な役割を担っていると考えます。令和2年度は、新型コロナ感染拡大によりスポーツイベントが中止されることになりましたが、例えば村内放送を活用したオンライン指導などスポーツ推進委員の活用の在り方についても検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

スポーツの振興に関すること

事業No.

42

事務事業名	スポーツ・文化大会等出場者奨励事業
-------	-------------------

事業の目的	アマチュア競技の全国大会等に出場する個人又は団体に対し、奨励金を交付することにより、本村のスポーツ及び文化の振興を図る。
事業の内容	全国大会に出場する者に対し、1人あたり3万円(チームの場合15万円が上限)を交付する。 ※令和2年度は該当者なし

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	60	0	180
	特定財源	0	0	0
	一般財源	60	0	180

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	交付者数	人	2	0
				6
事業の課題		剣道等の競技人口の減少に伴い、全国大会への出場が困難となってきている。		
事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	アマチュア競技の全国大会等に出場する個人又は団体に対し、奨励金を交付するスポーツ・文化大会等出場奨励事業は村内のスポーツ及び文化の振興に意義のあるものであると考えます。今後も剣道をはじめスポーツ及び文化活動を支援されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

スポーツの振興に関すること

事業No.

43

事務事業名	チャレンジスポーツin十津川
-------	----------------

事業の目的	誰でも参加できるスポーツイベントとして、村民がスポーツに親しみ、体を動かすきっかけを創出する。
事業の内容	陸上記録会とレクリエーション競技を半日のスケジュールで行う。学校行事とは切り離し、参加したい人が参加したい競技にだけ参加できる方式とする。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

事業コスト (単位:千円)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	0	0
	特定財源	0	0
	一般財源	0	277

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成果	参加者数	人	0	50
事業の課題		雨天により中止が続いた十津川大運動会の後継イベントであり、実施にあたって村民の認知度や参加意欲を得るために工夫が必要である。		
事業の評価		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	「チャレンジスポーツin十津川」は村民が気軽にスポーツに親しむことができ、村民の健康・体力維持にも寄与する事業であると考えます。今後新型コロナ感染対策を行い開催の在り方を検討するとともに、村民への周知方法等についても検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

スポーツの振興に関すること

事業No.

44

事務事業名	東京2020オリンピック聖火リレー
-------	-------------------

事業の目的	2020年に開催される東京オリンピックに先立ち、国内で聖火リレーが実施されることになり、奈良県内では、本村を含む19市町村で聖火が通る。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●実施予定日:令和2年4月12日(日) ●ミニセレブレーション会場:昂の郷 ●コース:昂の郷～十津川第二小学校(2.58km) ●ランナー数:10名 <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、東京オリンピックが次年度に延期となったことで聖火リレーも延期となった。</p>

事業コスト (単位:千円)	事業費	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	特定財源	0	0	0
	一般財源	129	1,056	1,472

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組み内容				
事業の課題		新型コロナウイルス感染症対策に対応した開催を検討する必要がある。		
事業の評価	A	十分成果が上がっている		
	B	成果が上がっている		
	C	十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある		
	D	ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、東京オリンピックが次年度に延期となったことで聖火リレーも延期となりましたが、次年度感染対策を行い実施されることを望みます。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

スポーツの振興に関すること

事業No.

45

事務事業名	駅伝大会
-------	------

事業の目的	村のスポーツ振興と村民の親睦を図るとともに、村の一層の発展と活力ある村づくりに資する。
事業の内容	<p>重里 ⇄ 上野地間の37.6kmを8区間で繋ぐ駅伝大会を開催する。 令和2年度は第67回大会にあたり、令和3年1月10日(日)10:00より、重里スタート、上野地ゴールで開催する予定だった。</p> <p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として村内在住・在勤者のみのエントリーを受け付けて開催する予定だったが、中止となった。</p>

事業コスト (単位:千円)		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	事業費	2,346	457	2,541
	特定財源	0	0	0
	一般財源	2,346	457	2,541

区分	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
取組内容 及び成績	出場チーム数	チーム	38	0
				40
事業の課題		新型コロナウイルス感染症の影響により、開催については賛否があった。可能な限り開催できる方向を探りたいが、村民が分裂するような行事とならないよう配慮する必要がある。		
事業の評価		A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	村のスポーツ振興と村民の親睦を図るとともに、村の一層の発展と活力ある村づくりに資する「駅伝大会」は意義高い事業であると考えます。来年度以降、新型コロナ感染対策を行い、そして村民の理解も得ながら開催の在り方を検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

IV. 点検・評価のまとめ

(1) 点検・評価を行った令和2年度の主要な事務事業の今後の方向性について、集計結果は以下のとおりです。

事務事業の方向性	件数
さらに重点化する	2件
現状のまま継続する	29件
見直しのうえ継続する	12件
事業の縮小を検討する	1件
休止、廃止を検討する	1件
終了・完了	0件

(2) 有識者からの意見（総評）

所期の目的を達し、全般的に順調に事業の執行が行われていると考えます。特に村独自の「学校給食無償化事業」「通学費補助事業」「修学旅行費補助事業」などは保護者の子育てを経済的に支援しており高く評価します。また、学校施設やICT機器の整備も順調に進んでいます。今後も国・県の事業も活用しながら計画的に執行して下さい。歴史・文化に関わる資料館が複数村内に設置されていますが、内容部分において重複し維持管理の観点においても課題があると考えます。「むかし館」などの設置意義を再検討され、展示内容等を抜本的に検討されることを期待します。新型コロナ感染が拡大する中、サマースクール、交流事業や各種のスポーツ及び文化イベントなどが中止になりましたが、その中で、「成人式」「歴史・文化講座」等が感染対策を講じ工夫しながら開催されています。今後もコロナ禍が続くことを念頭に置いて、村民の理解も得ながら開催の在り方について検討されることを期待します。